



証券コード：7774

2021年3月期決算説明資料

2021年4月28日

株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング

目次

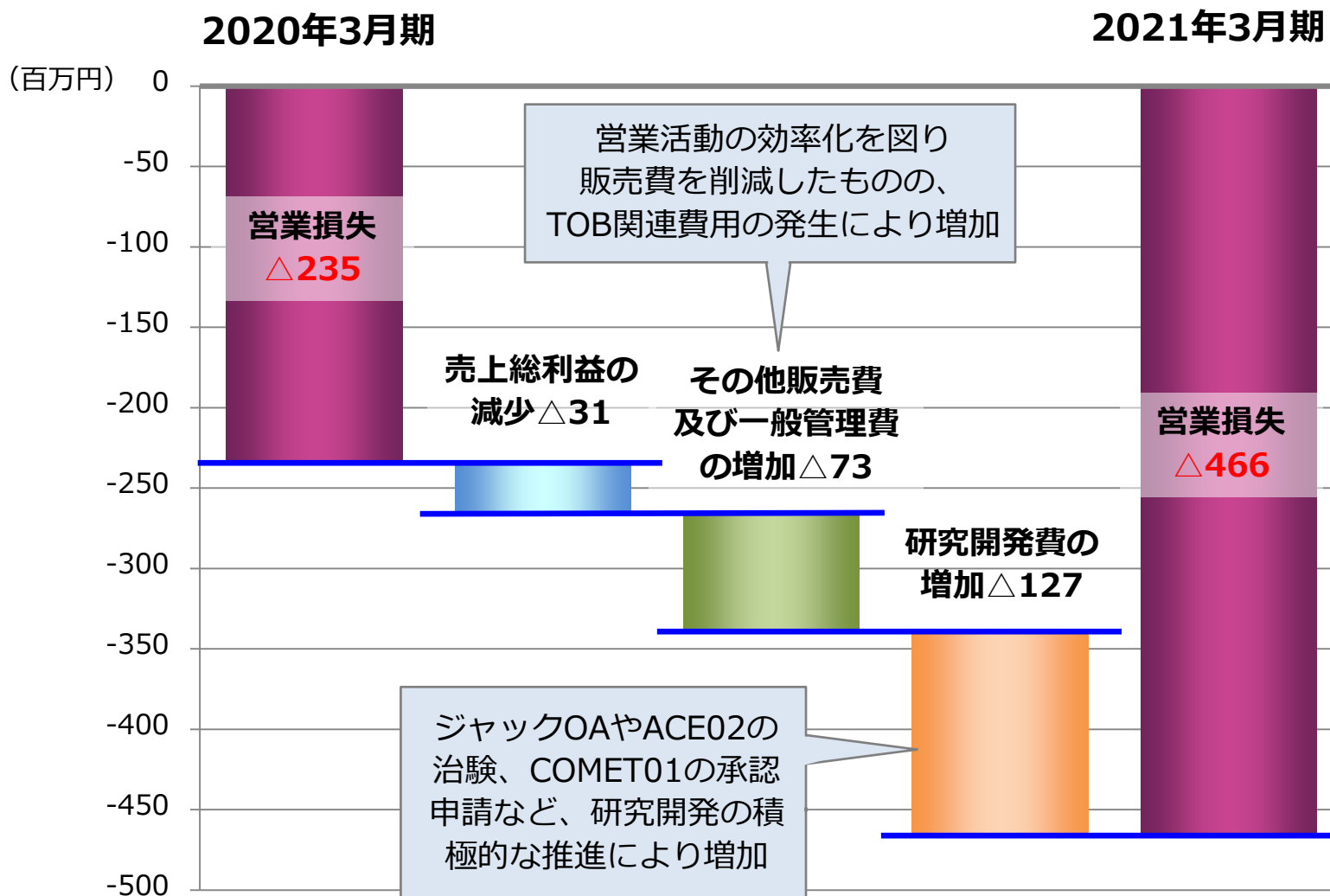
1. 2021年3月期の業績	2
2. 帝人によるTOBについて	11
3. 2021年3月期のトピックス	14
4. 2022年3月期の業績予想	21

損益計算書の概要

単位：百万円 (百万円未満切捨て表示) (増減率は円単位で計算)	2020年3月期 実績	2021年3月期 実績	対前期		2021年3月期 業績予想	対業績予想 遂行率
			増減額	増減率		
ジェイス	914	978	64	7.0%	977	100.1%
ジャック	416	331	△84	△20.4%	350	94.5%
その他	25	18	△6	△26.4%	66	27.7%
再生医療製品事業	1,356	1,328	△27	△2.0%	1,394	95.3%
再生医療受託事業	813	721	△91	△11.3%	750	96.1%
研究開発支援事業	140	207	66	47.7%	187	110.2%
売上高合計	2,309	2,257	△52	△2.3%	2,333	96.7%
売上総利益	1,188	1,156	△31	△2.6%	—	—
販売費及び一般管理費	1,423	1,623	200	14.1%	—	—
営業損失	△235	△466	△231	—	△497	—
経常損失	△229	△462	△233	—	△493	—
当期純損失	△287	△466	△179	—	△497	—

- ✓ 売上高は、研究開発支援事業の売上が大きく増加したものの、再生医療受託事業の売上が大きく減少したことから、2,257百万円（対前期△2.3%）となった。
- ✓ 販売費及び一般管理費は、製品開発推進による研究開発費の増加に加え、TOBに関連する費用の発生により、対前期14.1%の増加。その結果、営業損失は対前期△231百万円となった。
- ✓ 業績予想に対しては、売上高はわずかに未達となるも、営業損失は業績予想の範囲に収めた。

営業損益増減の内訳



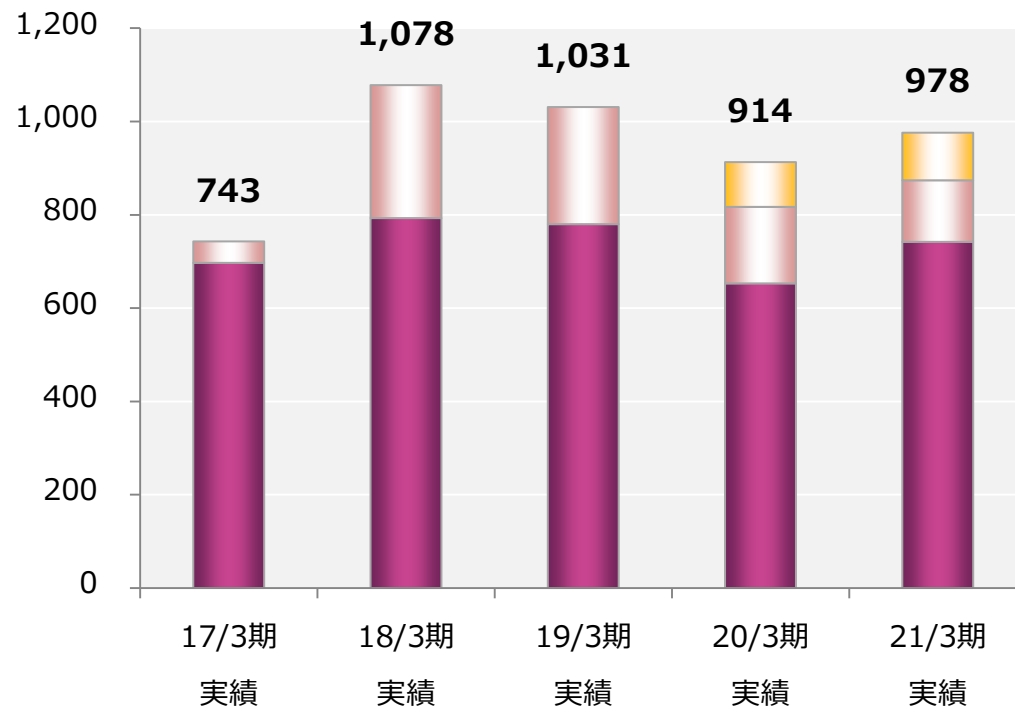
自家培養表皮ジェイス

- ✓ 売上高は978百万円で、対前期+64百万円、増減率+7.0%。
- ✓ 重症熱傷向けでは治療手技のDVD動画の配布、先天性巨大色素性母斑向けでは拠点施設への重点的なフォロー、表皮水疱症向けでは医師に対するセミナー記録集を用いた情報提供等の効果的な施策を実施し、コロナ禍でも売上増加を達成した。
- ✓ 重症熱傷治療においてジェイスが標準治療として広く浸透しつつあり、更なる普及に努める。



(単位：百万円)

ジェイス売上高の推移

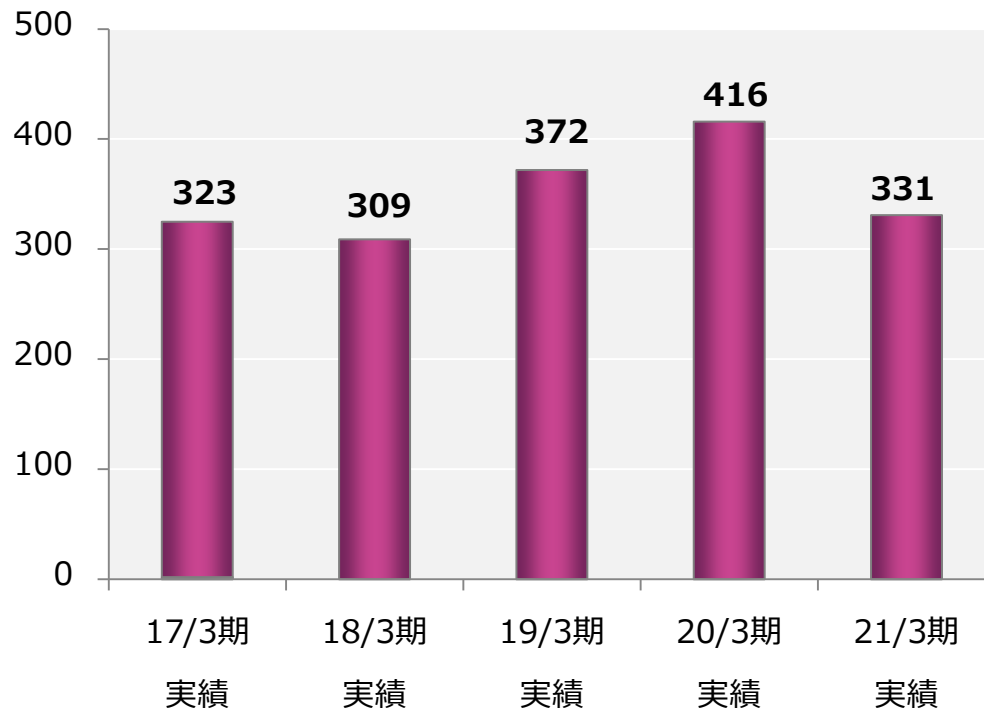


自家培養軟骨ジャック

- ✓ 売上高は331百万円で、対前期△84百万円、増減率△20.4%。
- ✓ オンラインツールを活用した医師向け講演会を開催するなど、ジャックの認知度向上やコラーゲン膜の有用性の情報提供に努めた。
- ✓ 年間を通じて、コロナ禍による不急の手術の敬遠・延期や、スポーツ制限による罹患者数の減少等の影響が大きく、前年に対して売上が減少した。
- ✓ 医療機関の状況に応じて直接訪問による情報提供を再開させ、敬遠・延期された症例の掘り起しを図り、売上の回復を目指す。

(単位：百万円)

ジャック売上高の推移

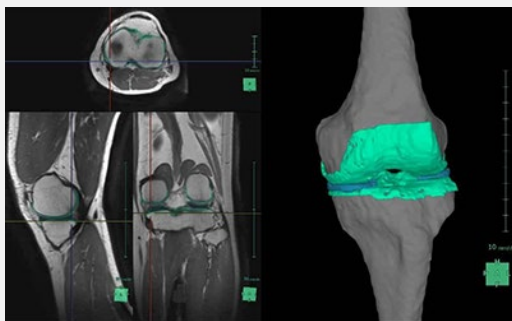


その他

- ✓ 売上高は18百万円で、対前期△6百万円、増減率△26.4%。
- ✓ 2020年6月に保険収載されたネピックについて複数の受注を獲得し、移植が実施された。
- ✓ 当社の再生医療等製品の製造販売に関する経験やノウハウと、株式会社ニデックの眼科領域における強力なネットワークのもと、本製品の販売体制を立ち上げた。
- ✓ 引き続き株式会社ニデックと協働し、眼科領域で国内初となる再生医療等製品の普及を目指す。

コロナの影響で売上減少

3次元画像解析システム「SYNAPSE VINCENT」をはじめとする医療機器の代理販売は、コロナの影響で売上減少。



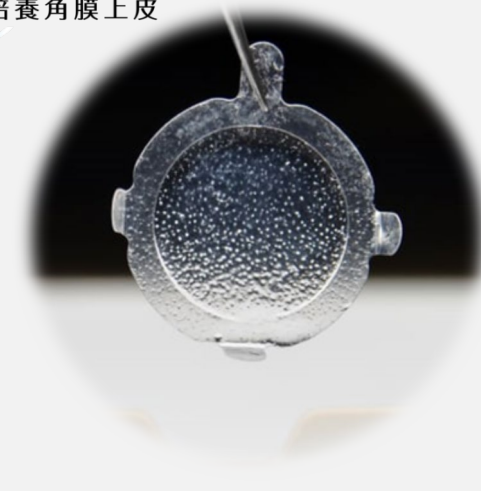
ポリウムアナライザー
SYNAPSE VINCENT

画像提供) 富士フイルム

眼科領域でも普及へ 順調に立上げ

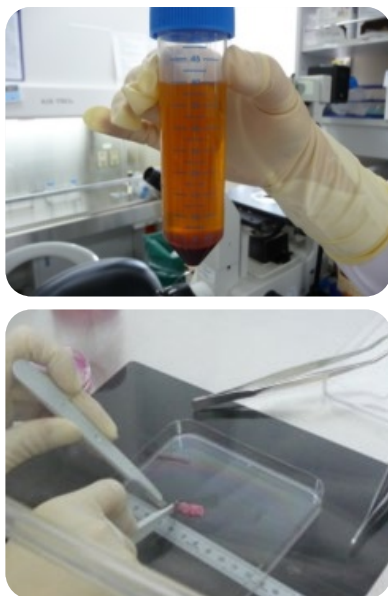
2020年6月に保険収載されたネピックは、順調に立上げ、複数の受注を獲得。

ネピック[®]
自家培養角膜上皮



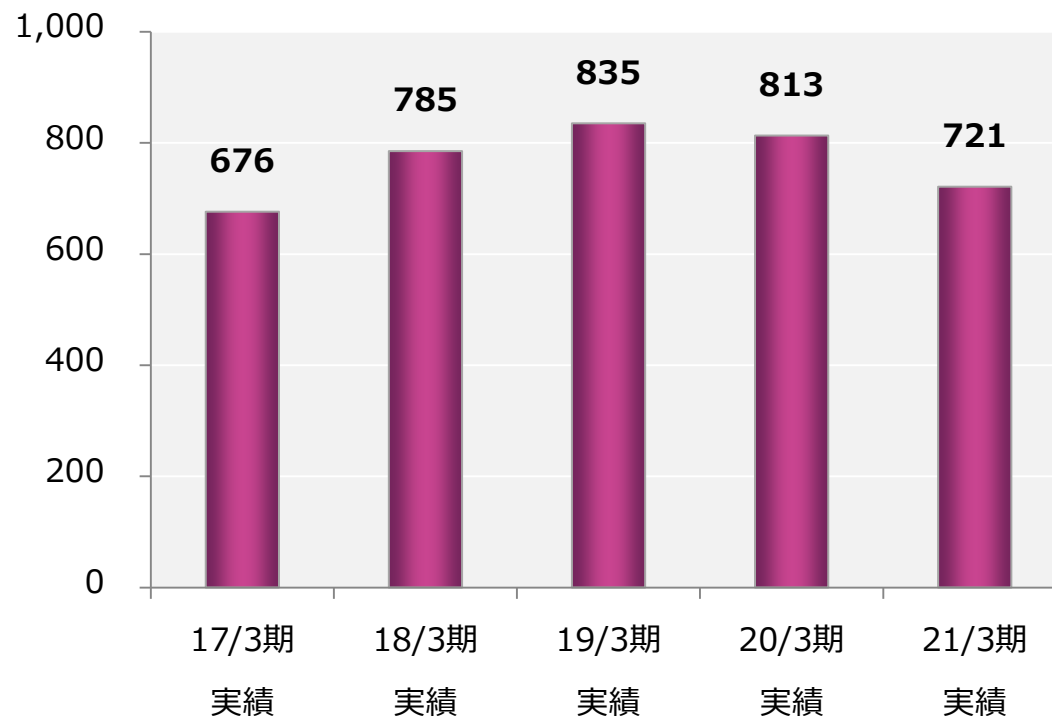
再生医療受託事業

- ✓ 売上高は721百万円で、対前期△91百万円、増減率△11.3%。
- ✓ 上半期に新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受けた委託元（企業やアカデミア）で治験や海外からの技術移管が遅れた影響が大きく、前年に対して売上が減少した。
- ✓ 下半期には企業やアカデミアにおいて治験等の開発が再開されたため、複数の案件にて受託業務が進み、来年度以降の巻き返しに向けた土台を整えた。



(単位：百万円)

受託事業売上高の推移



研究開発支援事業

- ✓ 売上高は207百万円で、対前期+66百万円、増減率+47.7%。
- ✓ ラボサイトシリーズは、オンラインツールを最大限に活用し、既存顧客への迅速かつ丁寧なアフターフォローを実施した。また海外顧客を含む新規ユーザーへのアプローチを強化した。その結果、前年に対し売上が大きく増加した。
- ✓ ヒトiPS細胞由来腸管上皮細胞「F-hiSIEC（エフ・ハイシーク）」についても、堅調に売上を伸ばした。

(単位：百万円)

研究開発支援事業売上高の推移



ヒトiPS細胞由来腸管上皮細胞
F-hiSIEC™
 FUJIFILM human iPS cell-derived Small Intestinal Epithelial like Cell

貸借対照表の概要

(単位：百万円) (百万円未満切捨て表示)	2020年3月期 2020年3月31日	2021年3月期 2021年3月31日	増減額
流動資産	6,816	6,544	△272
固定・繰延資産	1,634	1,574	△60
資産合計	8,451	8,119	△332
流動負債	783	919	135
固定負債	36	35	0
負債合計	820	954	134
資本金	4,958	4,958	0
資本準備金	2,788	2,788	0
利益剰余金	△116	△582	△466
純資産	7,631	7,164	△466
負債・純資産合計	8,451	8,119	△332

当期純損失による現金
及び預金の残高の減少

当期純損失の計上

キャッシュ・フローの概要

(単位：百万円) (百万円未満切捨て表示)	2020年3月期 実績	2021年3月期 実績	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	△84	△399	△315
投資活動によるキャッシュ・フロー	209	125	△83
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3	△1	1
現金及び現金同等物の増減額 (△：減)	121	△275	△396
現金及び現金同等物の期首残高	2,029	2,150	121
現金及び現金同等物の期末残高	2,150	1,875	△275

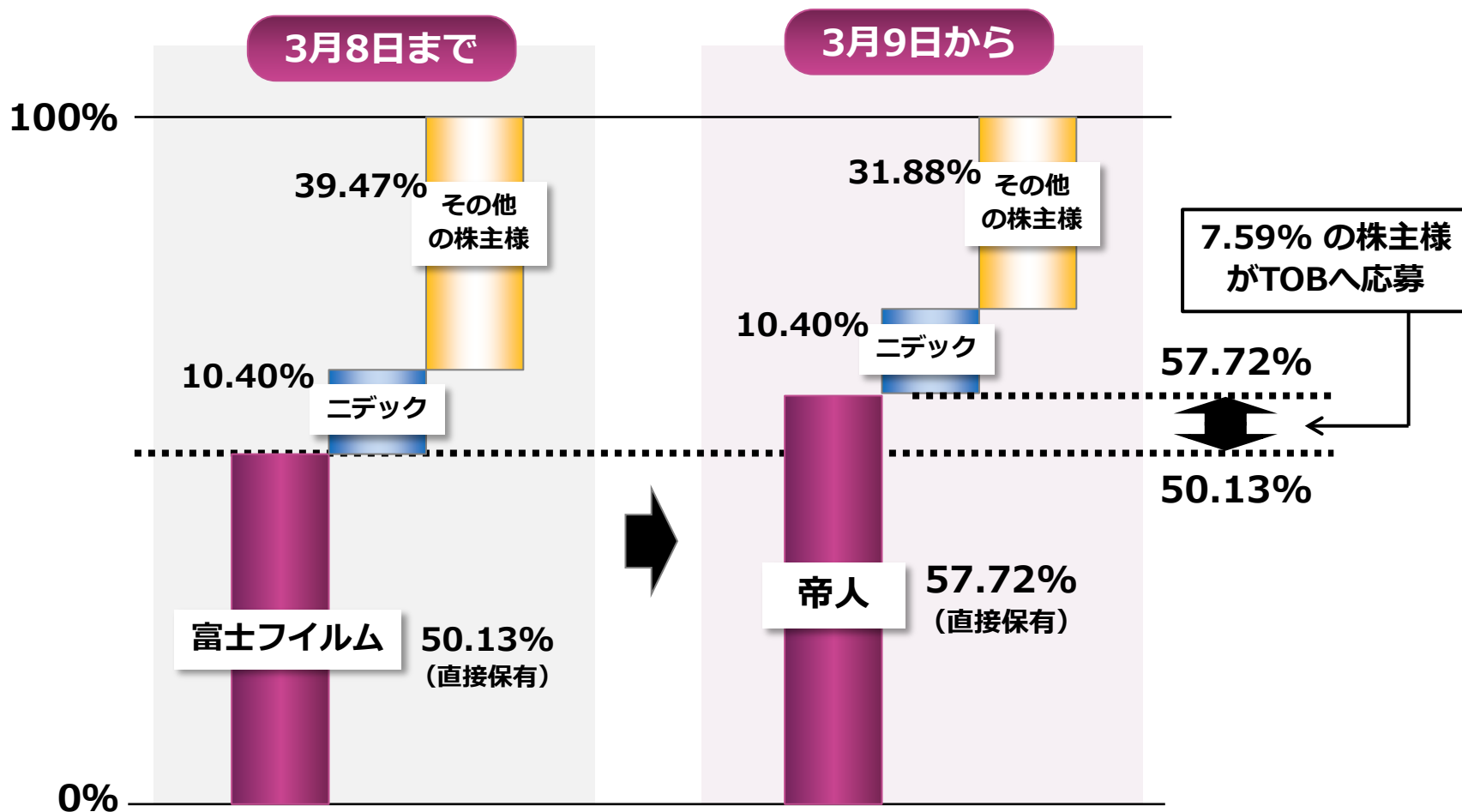
- ✓ 営業活動によるCF：営業活動の結果使用した資金は399百万円（前期は84百万円の使用）。
主には、売上債権の増加と税引前当期純損失等。
- ✓ 投資活動によるCF：投資活動の結果獲得した資金は125百万円（前期は209百万円の獲得）。
主には、定期預金の払戻しによる収入等。
- ✓ 財務活動によるCF：財務活動の結果使用した資金は1百万円（前期は3百万円の使用）。
主には、リース債務の返済。
- ✓ 現金及び現金同等物の期末残高：
期首残高2,150百万円に対し、期末残高は1,875百万円となった。
なお、貸借対照表中の現金及び預金（5,275百万円）との差額は、
預入期間が3か月を超える定期預金（3,400百万円）分に該当する。

目次

1. 2021年3月期の業績	-----	2
2. 帝人によるTOBについて	-----	11
3. 2021年3月期のトピックス	-----	14
4. 2022年3月期の業績予想	-----	21

帝人によるTOBの結果

- ✓ 2021年2月1日から3月2日にかけて、帝人株式会社による当社株式に対する公開買付けが行われた。
- ✓ その結果、2021年3月9日（本公開買付の決済の開始日）付で、当社の親会社及び主要株主である筆頭株主が富士フイルムから帝人へ異動した。
- ✓ 当社は、帝人グループとして、グループシナジーを最大限発揮するとともに、再生医療のトップランナーとしてさらなる成長を目指す。



帝人とのシナジーにより期待される新たな展開

1. 両社協業による再生医療等製品CDMO事業の拡大
2. 帝人の材料・素材開発力の再生医療への活用
3. 帝人のエンジニアリング活用による生産プロセス効率化・最適化、生産設備拡大支援
4. 帝人の医薬品・医療機器事業との連携による新技術の開発・事業拡大（膝関節領域等）
5. 当社の臨床開発業務への帝人の知見活用・支援
6. 当社製品の輸送・販売における協業
7. 当社製品の海外展開検討への支援

両社協業による事業計画を策定予定

目次

1. 2021年3月期の業績	-----	2
2. 帝人によるTOBについて	-----	12
3. 2021年3月期のトピックス	-----	14
4. 2022年3月期の業績予想	-----	21

2021年3月期 トピックス一覧

2020年

ピックアップ

5月13日	自家培養角膜上皮「ネピック」：保険収載了承のお知らせ	(1) ネピック保険適用
6月9日	J-TEC紹介動画「再生医療をあたりまえの医療にする」を配信開始	
8月4日	再生医療ナビ「皮膚の再生医療」「角膜の再生医療」のご案内	
8月28日	ラボサイト製品 価格改定のお知らせ	
9月14日	自家培養口腔粘膜上皮（開発名：COMET01）：製造販売承認申請のお知らせ	(2) COMET01承認申請
9月14日	J-TECのビジョンを掲載	
9月	再生医療の今を知るオンラインセミナー 第1回「眼の再生医療」	(3) オンラインセミナー
10月26日	株式会社日本再生医療が開発を進める世界初の小児先天性心疾患を対象とした再生医療等製品の第3相臨床試験用製品の製造を受託	
11月	再生医療の今を知るオンラインセミナー 第2回「がんの再生医療」	

2021年

1月25日	自家CAR-T細胞療法の臨床研究に関する名古屋大学からのプレス発表	(4) CAR-T細胞治療
1月29日	帝人株式会社による当社株式に対する公開買付けに関する意見表明及び同社との資本業務提携契約締結に関するお知らせ	
2月5日	AMED公式YouTubeチャンネル コンテンツ動画のご案内	
3月3日	帝人株式会社による当社株式に対する公開買付けの結果、親会社及び主要株主である筆頭株主の異動並びに富士フイルム株式会社との資本業務提携の解消に関するお知らせ	
3月30日	再生医療のまち蒲郡 トップ会談 第1弾のご案内	(5) 蒲郡市トップ対談
4月1日	J-TECホームページ 全面リニューアル	

適時開示

その他

(1) ネピック保険適用

- ✓ 2020年6月1日付で保険収載。
- ✓ 12月に第1例目となる患者さまへの移植が実施され、以降複数の受注を獲得。



販売：株式会社ニデック



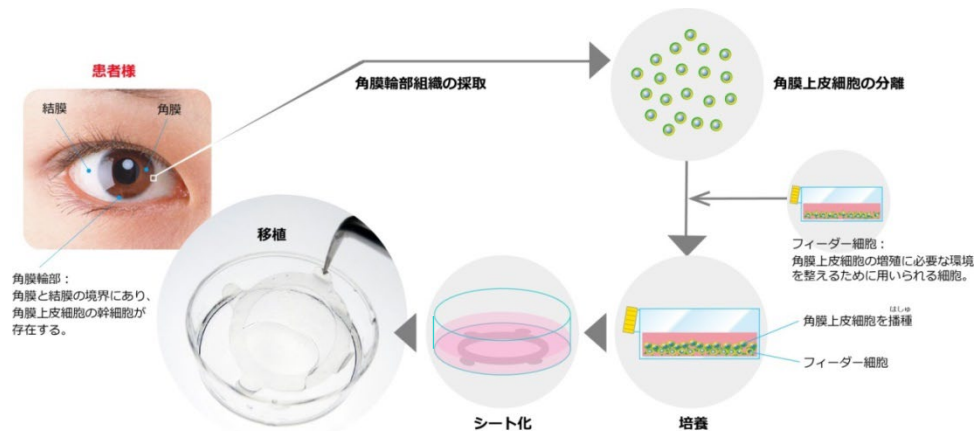
【適応対象】角膜上皮幹細胞疲弊症

ただし、以下の患者を除く。

- ・スティーヴンス・ジョンソン症候群の患者
- ・眼類天疱瘡の患者
- ・移植片対宿主病の患者
- ・無虹彩症等の先天的に角膜上皮幹細胞に形成異常を来す疾患の患者
- ・再発翼状片の患者
- ・特発性の角膜上皮幹細胞疲弊症患者

【保険償還価格】（2020年6月～）

- ① 組織運搬セット： 4,280千円
- ② 培養角膜上皮パッケージ： 5,470千円



(2) COMET01承認申請

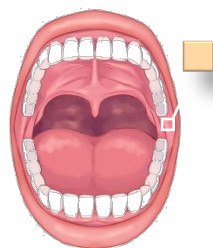
眼科領域で2つ目の再生医療等製品

2020年9月、自家培養口腔粘膜上皮（開発名：COMET01）の製造販売承認を申請

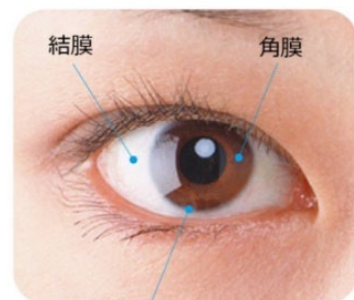
- ✓ 大阪大学で実施された医師主導治験を引き継いで開発。
- ✓ 自家培養口腔粘膜上皮シートを移植することで、患者様自身の口腔粘膜上皮細胞を生着・増殖させ、欠損した角膜上皮を修復させることを目的としている。
- ✓ 角膜上皮幹細胞疲弊症によって両眼の角膜が広範囲に混濁し視機能が著しく低下した患者様に対する新たな治療を目指す。



自家培養口腔粘膜上皮



患者様自身の口腔粘膜組織を採取し、
分離した細胞を培養した
自家培養口腔粘膜上皮シートを
患者様の眼に移植



角膜輪部：角膜と結膜の境界にあり、
角膜上皮細胞の幹細胞が存在する。

角膜上皮幹細胞疲弊症とは

結膜と角膜の境界領域である角膜輪部に存在する角膜上皮幹細胞が、先天的または外的要因等によって消失することで発症する疾患。角膜が混濁し、視力の低下や、眼痛などの臨床症状が見られる。

(3) オンラインセミナー

再生医療の今を知る オンラインセミナーを開催

第1回 「眼の再生医療」

2020年9月

- ✓ 当社の自家培養角膜上皮などの製品見本をお見せし、培養角膜上皮と培養口腔粘膜上皮の違いなど、眼科領域の技術についてご紹介した。



第2回 「がんの再生医療」

2020年11月

- ✓ 名古屋大学大学院医学系研究科小児科学教授 高橋 義行 先生に、パネリストとしてご登壇いただき、「がん（CAR-T細胞治療）の再生医療」について基本的な内容から国内外の現状・今後の展望まで幅広くお話しいただいた。



(4) CAR-T細胞治療

当社は名古屋大学と連携し、自家CAR-T細胞治療技術の製品化・実用化を目指す

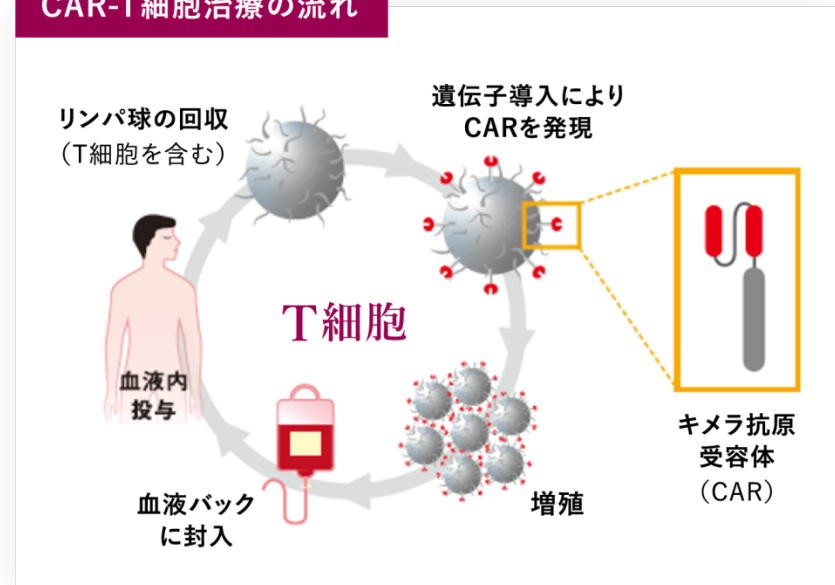
- ✓ 2021年1月、名古屋大学より、かねてより実施中のCAR-T細胞治療の安全性に関する臨床研究についてプレス発表があった。

【名古屋大学プレス発表のポイント】

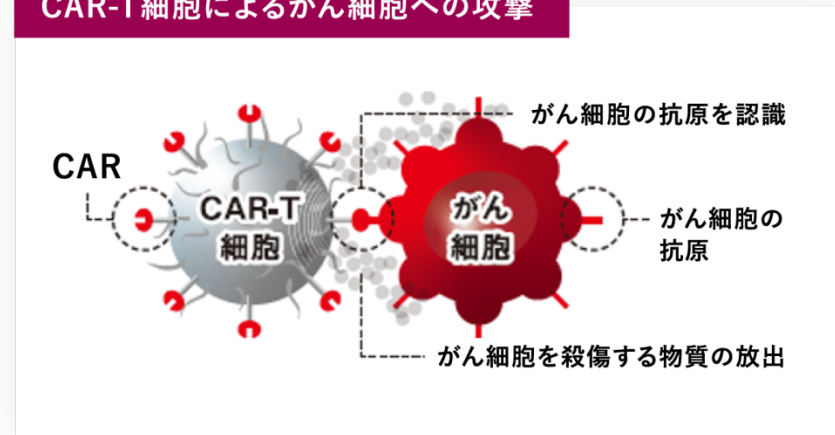
1. 名古屋大学医学部附属病院において、第1コホート（16～60歳対象群）の3人の患者さまへの投与終了し、その**安全性と一定の有効性が確認された**。
2. タイ王国のチュラロンコン大学において、同病院が支援している臨床試験が実施され、悪性リンパ腫の1人目の患者さまへの治療が安全性に問題なく進められている。

- ✓ 当社は、今後も名古屋大学と連携し、早期に企業治験を実現するとともに、患者さまの生活の質（QOL）向上に貢献できるよう本自家CAR-T細胞治療技術の製品化・実用化に取り組む。

CAR-T細胞治療の流れ



CAR-T細胞によるがん細胞への攻撃



(5) 蒲郡市トップ対談

【対談動画】

再生医療のまち蒲郡 トップ会談



(左から)

蒲郡市 市長 鈴木 寿明 様
 蒲郡市民病院 最高経営責任者 城 卓志 様
 当社代表取締役 社長執行役員 畠 賢一郎
 蒲郡商工会議所 会頭 小池 高弘 様

- ✓ 愛知県蒲郡市では、再生医療のまちづくりを推進するため、2015年に「蒲郡再生医療産業化推進委員会」を設立。
- ✓ 当社は蒲郡市との協力のもと、再生医療の発展・普及に向けてさまざまな活動を推進している。
- ✓ この度、これまでの取り組みと未来の展望について語る動画制作（全3回）が行われ、ネット配信されている。



対談の様子

第1弾 ～再生医療のまちづくりのこれまで～

<https://www.youtube.com/watch?v=ICHTZMhe8-U>

第2弾 ～再生医療がもたらす医療の発展～

<https://www.youtube.com/watch?v=xn15cDj7DpY>

目次

1. 2021年3月期の業績	-----	2
2. 帝人によるTOBについて	-----	11
3. 2021年3月期のトピックス	-----	14
4. 2022年3月期の業績予想	-----	21

2022年3月期の業績予想

単位：百万円 (百万円未満切捨て表示) (増減率は円単位で計算)	2021年3月期 実績	2022年3月期 業績予想	対前期	
			増減額	増減率
ジェイス	978	1,004	26	2.7%
ジャック	331	414	83	24.9%
その他	18	197	179	972.1%
再生医療製品事業	1,328	1,616	288	21.7%
再生医療受託事業	721	871	150	20.8%
研究開発支援事業	207	270	63	30.3%
売上高	2,257	2,758	501	22.2%
営業利益	△466	△297	169	-
経常利益	△462	△292	170	-
当期純利益	△466	△295	171	-

- ✓ 2022年3月期の業績予想は、自家培養表皮ジェイス、自家培養軟骨ジャックに加え、自家培養角膜上皮ネピックおよび受託事業の売上拡大により、売上高2,758百万円（前期比22.2%増）を見込む。
- ✓ ①開発中のパイプラインへの研究開発投資 ②帝人株式会社による当社株式に対する公開買付け後のPMI*費用を織り込み、営業損失297百万円、経常損失292百万円、当期純損失295百万円を見込む。

*PMI: Post Merger Integration, M&A（合併・買収）後の統合プロセス

本開示資料は、投資者に対する情報提供を目的として将来の事業計画等を記載したものであって、投資勧誘を目的としたものではありません。当社の事業計画に対する評価及び投資に関する決定は、投資者ご自身の判断において行われるようお願いいたします。

また、当社は、事業計画に関する業績目標その他の事項の実現・達成等に関しその蓋然性を如何なる意味においても保証するものではなく、その実現・達成等に関して一切責任を負うものではありません。

本開示資料に記載されている将来に係わる一切の記述内容（事業計画に関する業績目標も含まれますがそれに限られません。）は、現時点で入手可能な情報から得られた当社の判断に基づくものであり、将来の経済環境の変化等を含む事業計画の前提条件に変動が生じた場合その他様々な要因の変化により、実際の事業の状態・業績等は影響を受けることが予想され、本開示資料の記載内容と大きく異なる可能性があります。

株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング

〒443-0022 愛知県蒲郡市三谷北通6-209-1

経営管理本部

TEL: 0533-66-2020 FAX: 0533-66-2019

Email: jtec-info@jpte.co.jp